

3月 月間指導計画 0歳児



保育目標		春の訪れを感じる。 友達と触れ合いながら遊ぶ機会が多くなる。			
子どもの姿		ふれあい遊びやわらべうたなどでスキンシップをとり、保育者とゆったり過ごしている。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	感染症予防に努める。	喚起をこまめに行い、適切な温度や湿度で過ごせるように配慮する。	鼻汁や咳がでたり、顔色が良くないことが見られる。 嘔吐・下痢の症状が出ている。	一人ひとりの健康状態について家庭との連絡を密にする。消毒をしっかり行う。
	情緒	好きな保育者と触れ合って安心して過ごす。	一人一人と寄り添い安心して過ごせるようになる。	特定の保育者の姿が見えないと不安になり泣いてしまう。	子どもが安心して過ごせるように一人一人とじっくり関わる。
教育	健康	天候に合わせて散歩に出かけ、元気に過ごす。	体調の変化にすぐ気が付くことができるように家庭との連絡を密にする。	晴れているとお散歩に行くことを楽しみにする姿がある。	抱っこをしたり、カートに乗って散歩をしたりして外で楽しく過ごせるようにする。
	人間関係	保育士や友達と簡単なやり取りを楽しむ。	保育者が仲立ちをし、他の子ども関わるようにできるようにする。	友達が泣いていると頭をなでたり、持っている玩具を貸してあげる姿がある。	一つ一つのしぐさや行為に、保育士が丁寧に応じることで、周りの人への興味関心をもてるようにする。
	環境	遊びを通して他の子どもと関わる楽しさを感じられるようにする。	たくさんの遊びを楽しめるように遊ぶ場所などを工夫する。	好きな遊びにじっくり取り組む姿が見られる。	遊びを見守ったり時には一緒に遊んだりする大切さを保護者の方に伝えていく。
	言語	保育者の言葉を真似したり簡単な言葉を発する楽しさを感じる。	絵本やわらべ歌などを通して言葉のリズム遊びなどを楽しめるようにする。	「ブーブ(車)」や「ないない(片付け)」など言葉を発して気持ちを伝える姿がある。	言葉をしっかりと聞き子ども気持ちを止め聞けるようにする。
	表現	手遊びやわらべ歌遊び、ダンスなどを楽しむ。	保育士が手遊びやわらべうた、踊りなどを楽しく行うことが子どもにも興味を持つ。	保育士の真似をして自分なりに表現し楽しんでいる。	保育者に抱っこしてもらったり、おんぶしてもらいリズム遊びを楽しめるようにする。
食育		保育士や友達と食事の時間を楽しむ。	自分でスプーンを使い楽しく食事がとれるようになる。	出来たことを喜び、認め、食べる楽しさを保育者や友達と感じられるようにする。	気分によっては手伝うが、一人で食べることができたときは大いに認めほめてあげる。
健康・安全		季節の変わり目なので体調に管理に気を付けて過ごし、体調に変化があった際にはすぐ気づくことができるようにする。			
保護者支援		できたことを認め大いに褒めて子どもの自信へと繋げていく大切さを伝える。			